



令和8年3月発行 最終号

学校だより

北海道柔道整復専門学校

ご挨拶

校長 當瀬 規嗣

学年末となりました。学校も卒業認定、国家試験受験、卒業式と、学生と学校の総仕上げに、全力を挙げて取り組んでいるところです。かねてからお伝えしている通り、本校は最後の卒業生を送り出したのち、3月末をもって閉校することと相成りました。保護者の皆様には、3年間にわたり、困難な状況にあった学生、そして、本校を支えていただき、深く感謝の念を申し上げます。閉校した後、本校の卒業生のフォローアップにつきましては、設置者である北海道柔道整復師会が、万全の体制を整えておりますので、ご心配のなきようお願い申し上げます。学校設立以来、48年間の長きに、保護者、卒業生、関係諸氏の多大なるご理解、ご協力により、学校運営を続けてこられましたこと、深く感謝申し上げます。卒業生の今後の活躍を祈念して、最後のご挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございます。

卒業の皆さんへ臚の言葉

教頭 西巻 英男

47期生諸君、ご卒業おめでとう。2023年4月少数精鋭の諸君ら有志達が入学しました。今日までの3年間、学校や臨床実習先、職場等プライベートを含め、様々な出会いと別れを経験し、人となりや学んで陶冶して来ました。一昨年の2024年4月「令和8年3月末で学校閉校」という衝撃的事実が母体の柔道整復師会より告知され、新入生、後輩不在の現実を目の当たりにしながら、皆で助け合い、学修活動を行って来ましたね。

中国の思想家、老子の言葉で、足るを知るという言葉がある。知ってる人いるかな?「足るを知る者は富む」といい、実際には「足るを知る者は富み、努めて行う者は志有り」と続く言葉です。意味は、何事に対しても感謝し、満足するという意識を持つことができる人は、精神的に豊かで、幸せな気持ちを持って生きていけるということを表す言葉です。

自分(己)を知ることは大変だけど、それができてこそ本当の強者であり、自分が求めているもの、行っているもの、経験してきたもの、学んだもの、それらに対する満足を得てこそ、人には本当の志が宿ると説いています。皆が志す柔道整復師という資格名には、冠に柔道がつくが、柔道はただ戦うだけの柔術、殺法ではなく、メダルを争うだけの競技でもない。柔道の道(どう)すなわち、道(みち)は、華道(お花)や茶道(お茶)と同様に美しさや心の優しさを意としています。そして、柔道の柔(やわら)は、心身のしなやかさ、おだやかさを意味しているのです。

我々柔道整復師は、整復、後療、すなわち活法を行う素晴らしい医療資格であるが、ただ手技、手法だけを競うだけでなく、人を思いやるこころと共感力、優しさを持って治療する人間であることを忘れないでほしいと切に願ってやみません。

最後に、本校の最終学生の諸君には、心からエールを送るとともに、ご自愛専一で地域医療、福祉現場において活躍し、社会貢献していくことを祈念し、最後の臚の言葉といたします。

私たちの学年がこの学校にとっての最終学年なためこの実技試験は私たちにとって特別なものでした。8月から実技試験の準備を始めました。教科書を使って疾患の特徴を覚えたり、固定の動作をしたりいろいろな方法で実技試験に向けて準備をしていきました。少ない人数で実技試験に挑む私たちは互いを助け合いながら全員合格を目指したため、全員合格が叶ったのと思います。

この認定実技審査で得られた知識と経験を3月1日の国家試験合格に向けて頑張ります。先生方と認定実技審査の時に患者役・助手役をしていただいた卒業生の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



どこかで聞いた事がある言葉である。そう「ど根性ガエル」の町田先生のセリフである。

僕も北海道柔道整復専門学校で 25 年という時間を教員として過ごしてきた。氷河期世代から Z 世代までの学生を相手に授業をし、授業の形態も講義型・問答型・アクティブラーニング・オンライン学習など試行錯誤の繰り返し。様々な世代の考え方に新人類世代の僕は振り回されてきた。今、最後の卒業生を送り出す。ひとつ言えるのは学生と過ごす時間は楽しい時間だった。僕は君たちの人生にちょっとでも影響を与えることが出来ただろうか。これからの方向性を指し示すことが出来ただろうか。つたない授業で申し訳ない。そして授業を聞いてくれてありがとう。これからも時々、かまってくれたら嬉しいです。

最後に、ご卒業おめでとうございます。

「卒業に寄せて」

副担任 輪島 里香

3 年生の皆さん、卒業おめでとうございます。残念ながら、皆さんが本校の送り出す最後の卒業生になりました。閉校することが決定し、様々な行事が異例で執り行われる中、不安に思うことが沢山あったと思います。そのような中で、3 年間、頑張ってくれてありがとう。これから、学校は無くなってしまいますが、私にとって皆さんは、いつまでも大切な教え子です。授業中にも、よく言っていました、「自分自身が考えて選択したこと」は、どのような選択であっても、間違いではないし、それが自分にとって「正解」になるよう行動していくことが大切だと思います。どんな選択でも、私は、応援しているから、苦しい時には自分には応援してくれる人がいることを思い出して下さい。学校に来れば、会えるということは出来なくなりますが、成長した皆さんに、またどこかで再会できる日を楽しみにしています！

これからのむけて

教員 吉田 英司

みなさんご卒業おめでとうございます。この学校での三年間はいかがでしたか？本校が今年度で最後ということで人数が少ない中でも、臨機応変に資格習得に向けて取り組み、適応してきたみなさんは素晴らしいと思います。これから病院や整骨院で勤務する人、他の医療従事資格を目指し進学する人、もしくはそれ以外のお仕事につく人もいるかと思いますが、努力を継続したことを忘れず、新たな環境においても活躍できるよう自信をもって臨んでください。この学校で過ごした卒業生の皆さんが、自分の力を思う存分発揮し、前進し続けるよう期待しています。今年度で本校は閉校となりますが、卒業後も同窓生として何かしらの繋がりがあるとかと思っています。どこかで再会した時には気兼ねなく声を掛け合ってください。どうかその時まで元気で頑張ってください。

(僕も含めて・・・)



ご卒業おめでとうございます。

これから旅立つ君たちにちょっと考えてほしい言葉です。

松下幸之助は、

自分には自分に与えられた道がある。どんな道かは知らないが、他の人には歩めない。

道をひらくためには、まず歩まねばならぬ。

ゲッターズ飯田は、

人生が上手くいかないのは、自分の考え方が間違っているだけ。計算通りに進まない人は、計算が間違っている、理論通りに進まないのは、その理論が間違っている。改めなければならないのは自分の考え方。

今も、これからも、自分の人生を決めるのは自分。『他責』ではなく『自責』

悩んで、考えて、選んでください。

5年後、10年後、後悔しない生き方を

担任から ~卒業にむけて+α~

担任 笹川 禎弘

3年生諸君、卒業おめでとうございます。3年間または4年間、北柔専校最後の学生として過ごした日々はどうか。入学時にまさか自分達が最後の卒業生になるとは思いもしなかったでしょう。後輩のいない学校は寂しくもあり大変なこともありました。認定実技審査では患者、助手役は例年2年生の担当でしたが、今回は卒業生が手を挙げてくれて、審査当日の2週間前から来ていただき本番同様の練習ができ本当に心強かったと思います。卒業後は北柔専校の同窓生として先輩方との繋がりを大切にし、迷ったり困ったりした時は先輩方を頼ってください。必ずや良いアドバイスが頂けることでしょう。そして日々勉学に励み立派な柔道整復師になってください。心から期待しています。

ここからは、私事になりますが平成8年4月に専科教員として母校で後輩たちと共に学んできた日々が今年でちょうど30年となりました。私の中での一番の出来事は令和2年の2月から始まったコロナ禍です。学校での対面授業も出来なくなり世の中のすべてが変わってしまったことは記憶に新しいところです。また個人的には学校教育の中で臨床実習がカリキュラムとなり、附属の整骨院の設置が義務付けられ平成14年7月から整骨院ハピネの院長として今日に至ったことです。この事が私の人生そのもととなったのです。30年の間には様々なことがありましたが感謝を申し上げ、最後に北柔専校ありがとうの言葉で終りたいと思います。

